

対象医療機関	6 6 施設
報告医療機関	4 9 施設
報告率	7 4 . 2 4 %
人口	7 4 , 5 4 0 人

1 号機能	4 1 施設 (8 3 . 6 7 %)
2 号機能 (イ) (診療時間外)	3 5 施設 (7 1 . 4 3 %)
2 号機能 (ロ) (入退院支援)	3 0 施設 (6 1 . 2 2 %)
2 号機能 (ハ) (在宅医療)	2 6 施設 (5 3 . 0 6 %)
2 号機能 (ニ) (介護連携)	3 1 施設 (6 3 . 2 7 %)

※対象医療機関は、特定機能病院等を除く報告制度の対象医療機関のうち、G-MISアカウントを取得している医療機関数を指します。
※2号機能の各機能に係る施設数は1号機能が有りと判定された医療機関で2号機能の各機能が有りと判定された医療機関数です。
※カッコ内は各機能が有りと判定された医療機関を報告医療機関で割った割合です。
※人口は令和7年住民基本台帳人口の数字です。

福知山市の状況（１号機能）

- 「１号機能を有する」と報告の医療機関は報告済医療機関のうち83.67%で、京都府全体の72.50%より高い割合になっている。

領域	施設数	領域	施設数
1：皮膚・形成外科領域	14	10：腎・泌尿器系領域	21
2：神経・脳血管領域	22	11：産科領域	4
3：精神科・神経科領域	17	12：婦人科領域	8
4：眼領域	13	13：乳腺領域	10
5：耳鼻咽喉領域	11	14：内分泌・代謝・栄養領域	23
6：呼吸器領域	25	15：血液・免疫系領域	22
7：消化器系領域	25	16：筋・骨格系及び外傷領域	16
8：肝・胆道・膵臓領域	21	17：小児領域	17
9：循環器系領域	23		

福知山市の状況（2号機能（イ）通常の診療時間外の診療）

- 「在宅当番医制への参加」は3医療機関だが、意向有は10医療機関あり。「休日夜間救急センターへの参加」は14医療機関、意向有は2医療機関となっている。
- 「時間外対応」については、「自院での電話対応」の報告が一番多く、次いで「自院での診療対応」との順になった。

時間外対応	平日準夜帯 (午後6時～ 午後10時)	平日深夜帯 (午後10時～ 明朝6時)	休日
自院での診療対応	20	13	14
自院での電話対応	21	18	19
複数の他医療機関と連携した診療対応	8	5	7
複数の他医療機関と連携した電話対応	6	4	4
診療対応の計	27（うち診療24）	22（うち診療19）	21（うち診療所18）

在宅当番医制への参加	月1回未満	2
	月2～3回	1
	実施の意向あり	10
休日夜間急患センターへの参加	月1回未満	13
	月1回	1
	実施の意向あり	2

R7病床機能報告	人数（レセプト件数）
夜間・時間外に受診した患者延べ数	7,142
休日に受診した患者延べ数	4,391
処置の時間外加算1及び2	52
処置の深夜加算1及び2	33
処置の休日加算1及び2	29

福知山市の状況（2号機能（口）入退院時の支援）

- ・ 入退院支援ルールに参加している、との報告は3診療所で、報告のあった医療機関のうち6.1%で、京都府全体の2.6%より高くなっている。
- ・ 地域連携クリティカルパスへの参加をしている、との報告は2病院で、報告のあった医療機関のうち4.1%という状況で、京都府全体の6.7%より低くなっている。
- ・ またどちらにも参加の報告が1診療所あった。

地域の入退院支援ルールや地域連携クリティカルパスへの参加状況	施設数
入退院支援ルール	3
地域連携クリティカルパス	2
入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス	1

NDBデータ	人数（レセプト件数）
退院支援を受けた患者数	1,622
小児の退院支援を受けた患者数	4

福知山市の状況（2号機能（ハ）在宅医療の提供について）

・在宅医療の機能を有している、と報告があった医療機関数は26で、報告のあった医療機関のうち53.1%という状況で、京都府全体の53.3%とほぼ同じであった。

訪問診療の実施	施設数	在宅患者に対する往診体制の確保状況	施設数	在宅患者に対する訪問看護体制の確保状況	施設数	R6レセプト件数から見た状況	人数
実施している	22	自院で日中のみ	6	自院で日中のみ	0	訪問診療を受けた患者数	4,825
実施の意向あり	4	自院で24時間	14	自院で24時間	2	訪問看護利用者数	12
自院において主治医として管理している在宅患者数	施設数	他医療機関と連携し日中のみ	0	訪看STと連携し日中のみ	0	往診を受けた患者数	1,145
1～10人	9	他医療機関と連携し24時間	5	訪看STと連携し24時間	12	看取り数	194
11～30人	7	実施の意向あり	1	実施の意向あり	5		
31～60人	4						
61～100人	2						
101～150人	2						

福知山市の状況（2号機能（二）介護サービス等と連携した医療提供及びその他の報告事項について）

- ・ 介護サービス等と連携した医療提供を行う機能を有している、と報告があった医療機関数は31で、報告のあった医療機関のうち63.3%という状況で、京都府全体の60.1%より上回っている。
- ・ 退院支援を受けた患者数に対して、介護連携指導を受けた患者数が11.47%で、京都府全体11.18%に比べわずかに高い割合になっている。

介護サービス等と連携した医療提供	施設数
主治医意見書の作成	31
介護支援専門員や相談支援専門員と相談機会の設定・サービス担当者会議等への参加	17
地域ケア会議・市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場への参加	18
居宅療養管理指導の対応	12

その他の報告事項	施設数
定期予防接種	28
学校医・園医	28
産業医	21
警察医	1

R6レセプト件数 介護支援連携指導を受けた患者数	186レセプト件数
-----------------------------	-----------

退院支援を受けた患者数に対する 介護支援連携指導を受けた患者数の割合
11.47% ※

※186÷1,622で計算

まとめ（福知山市内の状況）

現状：

- ・ 市民病院等と診療所が連携し、地域の医療体制を構築している
- ・ 地域の医師全体の高齢化が進んでいる
- ・ 旧3町・北部地域と旧福知山市（市街地）で医療資源の差がある
- ・ 診療所の代替わりはあるが、近年、開業医の開設がない
- ・ 24時間診療について、職住が別であることや、若手医師が、ライフワークバランスを重視するため消極的である（※前回会議）



課題：

- ・ 報告された数値は、京都府全体とほぼ同じ割合で、上回っている機能もあるが、今後、医療の需要は増加する見込みであり、診療所において休日・時間外の診療が困難となる可能性があるため、各関係機関と連携した取組が必要

今後の対応



市、医師会等と課題について共有し、別途設置する協議体において、課題に対応した方策の検討を進める。